



九州出張所：佐賀県三養基郡みやき町江口 1953

諸 物 性		アクアガード クリーン	備 考
成 分		変性ウレタン樹脂	無黄変タイプ
粘 度		1 5 秒	フォードカップ # 4
不 揮 発 分		3 3 %	1 0 5℃× 3 時間
乾 燥 性	指 触 半 硬 化 硬 化 焼き 付け	2 0 分 4 0 分 2 時間 7 0℃× 2 時間	2 0℃ 7 5 %RH (膜厚などの条件により変わります)
光 沢		9 3 %	6 0 度鏡面反射
密 着 性		1 0 0 / 1 0 0	碁盤目 テープ剥離
耐 衝 撃 性		5 0 c m	ディポン式 5 0 0 g
耐 水 性		合 格	浸漬 2 4 時間
荷 姿		16kg, 4kg, 1kg	

九州出張所：佐賀県三養基郡みやき町江口 1953

成分表

ウレタン樹脂	33%
水	66%
添加剤	1%
	100%

F☆☆☆☆：日本塗料工業会 認証番号 S16002

本製品には、ホルムアルデヒド、並びにホルムアルデヒドを原料とする成分、及び、ホルムアルデヒドを発生する可能性のある成分を含んでいない事、並びに、厚生労働省指針物質を一切含有していない事を証明いたします。
(なお、ホルマリンとはホルムアルデヒドを水に溶解したものの名称です)



九州出張所：佐賀県三養基郡みやき町江口 1953

【\アクアカ[°]-ト[°].jtdc】

製品安全データシート

混合物用（塗料用）

整理番号：アアガードクリーン

製造者情報	会 社 名	三精塗料工業株式会社			
	住 所	〒639-1037 奈良県大和郡山市額田部北町 1261-5			
	担当部門	研究開発部	電話番号	0743-56-8611	
	E.mail	kikyou@kcen.ne.jp	FAX番号	0743-56-8621	
	Home Page	http://www1.kcen.ne.jp/~kikyou/	作成・改訂	平成18年2月22日 (04/10/04)	
製品の特定	製 品 名	アクアガード クリーン			
	製品説明	F☆☆☆☆(日塗工認証番号S16002)		PRTR対策、VOC対策、シックハウス対策品	
	種 類	水性変性ウレタン系合成樹脂マイクロデイスパージョン塗料			
物質の特定	主な用途	木質部上塗り塗料		溶剤分：0.01%以下	
				◎揮発性有機化学物質としても0.01%未満です	
	成分及び含有量（危険物有害物質を対象）				
	成 分 名	CAS No.	含有量	備 考	
	変性ウレタン樹脂	— — —	30-40 %	マイクロデイスパージョン	
水	— — —	60-70 %			
添加剤	— — —	0-5 %	消泡剤、レベリング剤等		
危険有害性の分類	分類の名称：該当せず				
	危険有害性コメント				
	☆特に危険、有害性の情報を有していない				
製品の物理／化学的性質	状 態	液体 [○]、気体 []			
		固体：固形状 []、粉末状 []、ペースト状 []			
		色：無色半透明 臭気：ほぼ無臭			
	沸 点	100 °C～	°C、蒸気圧：	Pa (°C)	
	密度(比重)	1.02 ±0.05	pH値：	該当しない	
	そ の 他	特になし			
危険性情報		引火点：	— — °C	発火点：	— — °C
		爆発限界：（下限）	— — %	（上限）	— — %
	反 応 性	接触により危険性のある物質：特になし			
	安 定 性	燃焼等による有害ガスの発生：このものは燃えないが、塗膜が燃えた場合は、CO等のガスを発生するおそれがある			
有害性情報	その他の反応情報：特になし				
	組成物質の有害性及び暴露濃度基準				
	物 質 名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他有害性
	変性ウレタン樹脂	— — —			
	水	— — —			
	添加剤	— — —			
	組成物質に関するその他の有害性情報				
	情報を持っていない。				
製品に関する有害性情報					
製品としての安全性試験は行っていない。					
環境影響情報	☆漏洩、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意すること 特に、製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れない様に対処すること。				
廃棄上の注意	☆廃塗料、容器の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。 ☆容器、機械装置等を洗浄した排水などは、地面や排水溝へそのまま流さないこと。 ☆廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託すること。 ☆取り扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。				
輸送上の注意	☆陸上輸送：関係法規には該当しない。 ☆航空輸送：航空法には該当しない。 ☆船舶輸送：船舶安全法には該当しない。				
主な適用法令	☆関係法規には該当しない。				
主な引用文献	☆(社)日本塗料工業界編「原材料物質データベース」 ☆溶剤ポケットブック ☆危険防災救急便覧 ☆国際化学物質安全カード（ICSC）☆NIOSH 「RTECS」 ☆化学工業日報社「化学品安全管理データブック」 ☆日本科学会編「化学防災指針集成」				

応急処置	<u>目に入った場合</u>	
	☆直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。	
	☆医師の診断を受けること。	
	<u>皮膚に付着した場合</u>	
	☆付着物を布にて素早くふき取る。	
	☆大量の水及び石鹼又は被扶養の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シナー等は使用しないこと。	
火災時の措置	☆外観に変化が見られたり、痛みがある場合には、医師の診断を受けること。	
	<u>吸入した場合</u>	
	☆蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所で安静にし、医師の診断を受ける。	
	<u>飲み込んだ場合</u>	
	☆誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。	
	☆嘔吐物は飲み込ませないこと。 ☆医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。	
火災時の措置	使用可能	水 [○]、炭酸ガス [○]、泡 [○]、粉末 [○]
	消火剤	乾燥砂 [○]、その他 []
	<u>消火方法</u>	
漏出時の措置	☆このものには可燃性はない。	
	☆作業の際には適切な保護具（手袋、防護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。	
	☆漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。	
	☆スコップウェスなどで回収する。 大量の流出には盛り土等で囲って流出を防止する。	
	水での洗浄なども、河川などへ排出されると環境を汚染する恐れがあるので注意すること。	
	☆付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処理をする。	
取扱い、保管上の注意	<u>取扱い上の注意</u>	
	☆換気の良い場所で取り扱う。 ☆容器はその都度、密栓する。	
	☆皮膚、粘膜、又は着衣にふれたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。	
暴露防止装置	☆取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。	
	<u>保管上の注意</u>	
	☆通風のよいところに保管する。湿気をさけること。 ☆日光の直射を避ける。	
環境影響情報	☆盗難防止の為に施錠保管する。	
	<u>設備対策</u>	
	☆特別に必要なはない。	
廃棄上の注意	<u>保護具</u>	
	☆呼吸器系の保護：スプレー作業を行う場合には、適切な防護マスクを着用すること。	
	☆目の保護：保護眼鏡を着用する。	
その他	☆皮膚の保護：有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。	
	☆その他の保護具：	
	☆環境影響情報	
その他	☆漏洩時、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意すること。	
	特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。	
	☆廃塗料、容器などの廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理する。	
その他	☆容器、機器等装置等を洗浄した廃水などは、地面や排水溝へ、そのまま流さないこと。	
	☆廃水処理、焼却等により発生した廃棄物についても廃棄物の処理及び清掃に関する法律や法規に従って処理を行うか、処理を委託すること。	
	<u>主な引用文献</u>	
その他	☆日本塗料工業会編集「原材料物質データベース」 ☆溶剤ポケットブック	
	☆危険防災救急便覧 ☆国際化学物質安全カード（I C S C）	
	☆化学工業日報社「化学品安全管理データブック」 ☆日本科学会編「化学防災指針集成」	

（注）危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。